Course nui	U-LAS00 10014 LJ34												
Course title (and course title in English)	宗教学 I Science of Religion I						Instructor's name, job title, and department of affiliation			Part-time Lecturer,IWATA FUMIAKI			
Group Hu	manities and Social Sciences Field(C						Classification)			Philosophy(Foundations)			
Language of instruction	ese			Ole	Old group		Group A		Number of credits 2		2		
Number of weekly time blocks	1 Clas		Class sty		Lecture (Face-to	cture ace-to-face cou		ırse)	Ye		nr/semesters	2024 •	First semester
Days and periods	Mon.3					· A	All students		Ε	Eligible students		For all majors	

#### [Overview and purpose of the course]

現代の日本人の多くは、「無宗教」を自認し、とかく「宗教」を特別なものとして敬遠しがちである。しかし、「宗教」は私たちの生活においても意外と身近な存在であること、また人間の存在の最も深い次元にそれが関わっていることに気づいてもらう。そして、「宗教」という観点からの現代理解、自己理解を深めることを目的とする。

## [Course objectives]

さまざまな宗教の歴史・現実を学ぶことにより、他者理解を深めることができるようになる。他者における宗教の位置づけを学ぶことにより、自己と宗教との関係について洞察を深めることができる。人文科学の方法論の一端を学ぶことができる。

## [Course schedule and contents)]

『宗教学キーワード』掲載の用語の説明を通して、授業を展開する。

以下のトピックに関する授業を行うことを予定している。

- 1 宗教学とは何か
- 2 生と死の意味を問う
- 3 生命の循環と継承
- 4 救いと癒しの現場
- 5 差別・暴力・権力と宗教
- 6 政治と宗教の相克
- 7 現代社会における宗教
- 8 宗教に関する実践
- 9 宗教における言葉
- 10 宗教における世界像
- 11 宗教における本質と規範
- 12 市民宗教とナショナリズム
- 13 諸宗教の見取り図
- 14 新しい問いと宗教学
- 15 試験
- 16 フィードバック:フィードバック期間内に行う

Continue to 宗教学 I (2)

## 宗教学 I (2)

## [Course requirements]

None

## [Evaluation methods and policy]

レポート試験

授業の内容の理解を問うとともに、授業で取りあげたテーマに関して、自ら調べて報告する内容を 予定している。

#### [Textbooks]

島薗進他編 『宗教学キーワード』(有斐閣) ISBN:978-4641058835

## [References, etc.]

#### (References, etc.)

島薗進 『宗教学の名著30』(ちくま新書) ISBN:978-4480064424 岩田文昭 『近代仏教と青年』(岩波書店) ISBN:978-4-00-025988-0 講義中に指示

## [Study outside of class (preparation and review)]

予習としては、次回の授業の主題に関係するテキストの箇所を読む。 授業後には、授業で紹介をしたいくつかの文献を読み、授業で説明した主題の理解を深める。

# [Other information (office hours, etc.)]

受身の態度で講義を聴くのではなく、問題意識をもって講義に出席していただきたい。授業に積極 的に出ることを前提に課題を出す予定であるので、受講に関してはその点に注意をしておく。